

# 長野市公共交通活性化・再生協議会

平成20年12月20日設置  
平成22年 2月25日連携計画策定



長野市

## 「市民の暮らしを支える」ながのバス交通プラン」の概要

### ○基本理念

持続的に発展する地域を創造するために、人と環境にやさしく地域の生活に使える「都市の装置」に変貌する。

### ○基本的な方針

- ・バスサービスの飛躍的な向上によって、「選ばれる」バス交通に変貌する。
- ・地域特性に応じた効率的なバス交通システムを、市民、企業、交通事業者、行政の協働・連携の下に実現する。

なくてはならない（市は主体的役割の責務）  
がんばってガラリと変わる（事業者は利用者本位に）  
のってのこそう（市民・企業の参加と行動） **長野のバス**

地域の公共交通を社会全体で支える仕組みの構築

## 推進施策 ～目標を達成するために「総力戦」で臨む～

### I. 「生活を支える」バスに

～都市構造、公共交通軸と整合し、生活を支える地域公共交通ネットワークの構築～

- ・市街地バス路線網の再構築、中心市街地循環バスの充実
- ・地域循環バスの導入、乗合タクシー等の再編・導入
- ・廃止代替バス、市営バス等の再編

### II. 「使いやすい」バスに

～市民、観光客の誰もが使いやすいバス交通の実現～

- ・ICカードの導入
- ・バス路線の増便・終発の繰り下げ、休日便の増発
- ・ハイグレードバス停の整備
- ・パーク・アンド・バスライド、サイクル・アンド・バスライドの実施
- ・ノンステップバス車両の充実

### III. 「分かりやすい」バスに

～きめ細やかで視覚的・感覚的に分かりやすいバスサービス案内の実現～

- ・バスロケーションシステムの導入
- ・バスガイドブックの全戸配布、観光用バスマップ・時刻表の作成
- ・バス事業者が混在するエリアの単純化

### IV. 「利用してみようかな」と思えるバスに

～マイカーだけに頼らず、バスも利用してみようと思える動機づくり～

- ・ノーマイカーデー、モビリティ・マネジメント、さわやかエコパークの実施

